

調査事業

課題番号	1	分野名	環境保全	予算区分	国庫
研究課題名	酸性雨等森林衰退モニタリング事業				
担当者名	墨谷 祐子		研究期間	平成16年度～	

目的

本事業は、「酸性雨長期モニタリング計画」に基づき、日本の代表的な森林のベースラインデータの確立及び酸性雨による生態系への影響を早期に把握するため、森林モニタリング(樹木衰退度調査)を実施することを目的に、環境省の委託事業で行う調査である。

方法

設定された永久調査地点において、中心から12m離れた東西南北の4地点周辺で、優先木各5本を無作為に選定する。合計20本の樹木をモニタリング対象樹木とし、樹木認識番号をつける。対象木について、「樹木衰退度の観察」「衰退原因の推定」を行う。

結果概要

1 樹木衰退度及び衰退原因の推定

樹木衰退度調査は、樹高・胸高直径のほか、樹勢や梢端の枯損等の有無について観察を行った。調査結果は下表のとおりである。

No.311のブナについて、若干樹勢の衰えが観察させたが、樹皮表面に虫喰いが見られ、酸性雨による影響ではないと考えられる。また、8本の調査木に若干の樹形の乱れが見られたが、自然形に近い状態である。これらの結果から、酸性雨による樹木の衰退とは判断できず、経過を観察することとする。

森林植生モニタリング(樹木衰退度調査表)

地点名:日光中禅寺湖畔 狸窪

機関名:栃木県林業センター

報告者名:墨谷 祐子

個体番号 (毎木調査番号)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
方位 (E, W, S, or N)	E	E	E	E	E	S	S	S	S	S	W	W	W	W	W	N	N	N	N	N	
樹種名(和名)	アオダモ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	ウラジロモミ	オオイタヤマメイゲツ	ウラジロモミ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	ブナ	アオダモ	ブナ	ウラジロモミ	ブナ	ブナ	
(学名)記入しにくい場合は別表でも良い	<i>Praxinus lamuginosa</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Acer sibiricum</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Praxinus lamuginosa</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Abies homolepis</i>	<i>Fagus crenata</i>	<i>Fagus crenata</i>	
相対的樹高	-		+	-		+	-	+			-						+	-			
樹高(m)	13.1	21.9	31.7	12.0	17.4	31.9	17.0	37.7	17.2	22.2	14.9	21.1	21.1	25.9	19.2	12.2	13.9	10.5	13.3	12.9	
胸高直径(cm)	18.7	24.8	63.7	19.2	32.1	82.3	20.5	51.8	27.8	42.5	21.0	34.3	35.7	30.5	29.7	35.2	40.4	19.2	24.0	28.9	
樹勢																					
樹形				1	1		1					1				1	1			1	1
枝の生長量																					
梢端の枯損																					
枝葉の密度																					
葉の変形度																					
葉の大きさ																					
葉色																					
葉の障害状況																					

空欄は、「正常」とする。

樹勢 1:「いくぶん被害の影響を受けているが、あまり目立たない。」

樹形 1:「若干の乱れはあるが、自然形に近い。」

中心点及び東西南北の各地点、計5箇所において、樹冠状況写真を撮影した。